

◀2014年(平成26年)度入学生用▶

工学部第2部

授業科目履修課程表

◆教育課程◆

- | | | |
|-----------------------------|---|--|
| 【第Ⅰ群】 総合教育科目 | — | a) 総合文化科目—〔文化と人間, 歴史と社会〕 b) 外国語科目—〔英語科目, ドイツ語科目, フランス語科目, 中国語科目〕 c) 保健体育科目 |
| 【第Ⅱ群】 専門基礎科目及び 専門共通科目 | — | a) 共通基礎科目 b) 専門基礎科目 |
| 【第Ⅲ群】 専門科目 | — | 専門科目(卒業研究を含む) |

2014年(平成26年)度入学生 工学部第2部カリキュラムについて

工学院大学では建学以来の伝統を受け継ぎ、科学技術立国の中核となるべき優れた実践力を備えた技術者の育成を目指してきている。こうした伝統を踏まえつつ、情報化社会に国際的な活躍ができる人材の育成を狙い、また、第2部の特色を生かし、具体的な教育方針として、次の6項目を定めている。

1. 専門教育においては、基礎となる専門知識、専門技術を身につけるだけでなく、問題解決型の実践的な応用力が修得できる教育内容とし、各人が社会で自信を持って活躍できる基礎となる特技を持てるようにする。
2. 単に技術に強いだけでなく、自然と人間が織りなす複雑な現実社会で、健全かつ総合的な判断が下せる技術者に育つことを期待する。このため、人文科学、社会科学、芸術、保健体育などの総合教育科目も重視する。
3. 国際社会で活躍できる技術者となるために不可欠な語学力を身につける。
4. 本来高等学校で学習しておくべき内容について、未履修などによって学力不足であるケースに対しては、学習支援センターを設け、基礎学力を補い、専門学習への適応力を高めることができる体制とする。
5. 社会で活躍できる資質の裏付けとなる資格として、卒業とともに取得できるものには、学士のほか各種の資格、受験資格がある。また、在学中に取得できる資格や免許については、積極的に取得の支援をする。
6. 第2部の特色を生かし、編入学生を含む学生の多様な教育ニーズに幅広く応えられるよう、個々の学生の履修希望への柔軟な対応を可能にしている。

上記の方針に基づき、時代の要請に応じた教育内容を系統的かつ効果的に学習できるように、各学科ともカリキュラムの改良工夫を行ってきている。学生諸君は、主体的に各自の創造力を活かした履修とその実践に力を入れてほしい。

授業科目は総合教育科目、共通基礎科目および共通専門科目、専門科目の3群に分かれ、卒業に必要な総単位数は124単位である。なお、卒業、履修要件については、各学科の項を参照していただきたい。

第I群 総合教育科目

社会や人間に対して、深い洞察力を持ったエンジニアに育つための基礎となる科目であり、次の3科目区分よりなる。

- a) 総合文化科目
- b) 外国語科目
- c) 保健体育科目

第II群 共通基礎科目および共通専門科目

工学、自然科学の基礎を学ぶ科目である。

- a) 共通基礎科目—数学、物理学、化学等自然科学の基礎となる科目ならびに基礎演習などの科目
- b) 共通専門科目—共通基礎科目と専門科目とを接続する役目を持つ各学科共通の科目

第III群 専門科目

当該学科の専門を学ぶための科目、その他教職課程などに関連した科目